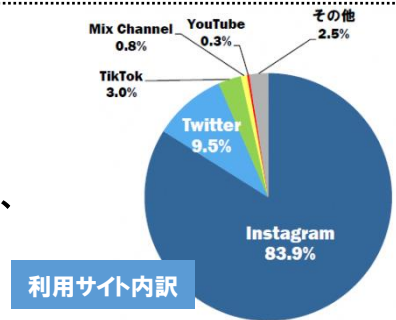




11 月時点の学校ネットパトロール調査結果をご報告いたします。  
画像や動画の投稿には、引き続きリスクと思われる内容の投稿が多く確認されています。  
「誰が見ているか分からない」「狙われているかもしれない」という危機感を持って、  
SNS を上手に利用する意識が必要です。

## 11 月度ネットパトロール調査結果

調査の結果発見された SNS サイト(367 サイト)のうち、約半数が自分の名前や顔写真を掲載していました。  
Instagram の利用率が更に増加を続け、全体の 80%を超えるようになりました。  
Instagram は画像や動画が中心で、顔写真が投稿される場合はもちろんのこと、部活動の表彰状や、引退する先輩への寄せ書き画像などで個人情報が判明してしまうケースが、いくつか見られました。



## 「現金プレゼント！」その話、信じて良いの？

### 【SNS で流行。「現金プレゼント企画」の裏側】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛要請の影響から、自宅で暇を持て余した SNS 利用者をターゲットにした「現金プレゼント企画を装った投稿」が、SNS 上で流行しました。



有名企業の社長など、本当に現金を渡しているアカウントはごく一部のみであり、同様の行為を行っているアカウントの大半は、詐欺や個人情報収集を目的とした偽企画であることが分かっています。  
応募要件を満たす「フォロー」「リツイート」などを行うと、そのアカウントからメッセージが届き、氏名や住所・連絡先などの情報を聞かれることがあります。安易に回答してしまうと個人情報が吸い取られるばかりか、悪用目的の個人情報リストに加えられ、他の悪用者からも狙われる可能性も生まれてしまいます。  
また「本当に現金を渡しているアカウント」だと分かっても、「その企画に応募している人だ」ということが分かるだけでも、悪用目的の人に狙われやすくなってしまふことは否めません。  
無料で何かが手に入るということは、無料で配る(と主張する)側にも何らかのメリットがあるはずで、「この人は何のためにお金(等)を配っているのだろうか？」という目線を持ち、安易に飛びつかないことが大切です。